

<上部内視鏡検査（胃カメラ）を受けられるかたへ>



胃カメラって
どんな検査？

胃内視鏡検査は、
直径1cm位のカメラスコープを
口（または鼻）から入れて十二指腸まで挿入し
胃の中を直接観察する検査です
（鼻からの場合、スコープの大きさは0.6cmです）



食事について

朝食を食われていなければ、**当日でも検査は可能**です

血圧の薬や、常用薬は内服してください

ただし、糖尿病のかたは食事摂取できないため

内服・注射は控えてもらう必要があります

詳しくはかかりつけ医にご相談ください



鼻からも検査できる？



鼻からが楽って
聞いたんですけど…

胃カメラの検査は
『口から』『鼻から』の
どちらかで行います



どちらが楽かは個人差があります

検査の前に、内視鏡室の看護師が問診や説明をさせていただきますので、気になることなど
気軽にご相談ください

※舟入病院では抗血栓薬・抗血小板薬など

抗凝固剤を内服されているかたは**鼻からの検査は控えてもらっています**

（鼻の奥がこすれ鼻血が出た場合、出血が止まらない可能性があるためです）

また、花粉症で鼻が詰まっていたり、鼻の手術や骨折をしたことがある方も

カメラが通りにくく、痛みが強い事があります

鎮静剤使用をしての検査も可能です（血管静脈注射になります）

不安が強い方、少しでも楽に検査を受けたい方は鎮静剤の使用もご検討ください

ただし鎮静剤を使用された場合、**お車や自転車の運転、仕事は控えてもらってます**